

● 第4号様式（第10条関係）

会 議 録（要 旨）

会 議 名	令和4年度第6回生涯学習審議会
開 催 日 時	令和5年2月28日（火） 午後2時～午後16時10分
開 催 場 所	さくらホール研修室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：齊藤委員、石橋委員、高橋委員、渡辺委員、吉田委員、河原塚委員、中里委員、原田委員、木下委員、長堀委員、長瀧委員、小川委員 事務局：文化振興課長、文化振興課生涯学習係係長・主事
議 題	議題1：市民大学検討小委員会での検討結果について (1) 市民大学のコンセプト (2) 講座案 (3) その他
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	議題1：意見が出た内容で検討小委員会にて検討を深める。
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。) 説明者 ○＝委員 ●＝事務局	<p>報告事項1：令和4年度武蔵村山市公民館講座実施状況について ＜事務局が資料を読み上げる＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ●只今の説明について質問等を受付ける。 ○質問等なし。 <p>報告事項2：市民大学設立に向けた検討小委員会長について</p> <ul style="list-style-type: none"> ●只今の説明について質問等を受付ける。 ○検討小委員会の他の委員の紹介も必要だと思う。 ○各委員の紹介を行う。 <p>議題1：「市民大学検討小委員会での検討結果について」</p> <p>(1) 市民大学のコンセプト</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市民大学の組織や予算的な部分はどのような形として作り上げていくのか。 ○これから共通認識を持って組み立てていく。 ○考え方の基本は生涯学習を行うという中での市民大学という捉えでいいのか。 <p>(2) 講座案</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市民大学には学長をおくのか。 ○まだそういったところは決めていない。 ○カルチャースクールとの差別化はあるのか。 ○受講料などは違ってくるでそういった部分ではあると思う。運営母体が違うというのがその違いだと思う。 <p>＜各委員から自分達で考えた講座案の説明＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○講座を例えば1講座から等小さく始めるというのはどうか。そういったことから始めて、知名度を上げ参加者を増やすような形を作っていくといいと思う。

	<p>○公民館講座を1講座からやってみるのはどうか。 ○イメージをつかむためにも次回の小委員会で予算などの具体的な部分を検討していくこととしている。 ○講座の内容を聞いてみて、市に関連するものは大変興味が沸いた。 ○運営するためのノウハウが無いので、それが懸念される。運営体制をしっかりさせることがとても大事だと思う。 ○組織や、予算体制を整える必要が大きい。 ○市民がどうやったら参加してもらえるか等考えることが重要だと思う。市民大学が市民の集まる場所であってほしい。また情報発信の場となってほしい。 ○要望書は事業計画書ではないので、事業計画を整えた方がいいと思う。</p> <p>その他：令和5年度第1回生涯学習審議会の開催日程について <事務局が資料を読み上げる> ●只今の説明について質問等を受付ける。 ●次回日程は令和5年4月の開催を予定している。 各委員の方の日程を調整し、開催日をお知らせします。</p>
--	---

<p>会議の公開・非公開の別</p>	<p>■公開 □一部公開 □非公開 ※一部公開又は非公開とした理由</p> <p style="text-align: right;">傍聴者： <u>0</u> 人</p> <p style="font-size: 2em;">{ }</p>
--------------------	---

<p>会議録の開示・非開示の別</p>	<p>■開示 □一部開示（根拠法令等：) □非開示（根拠法令等：)</p>
<p>庶務担当課</p>	<p>教育委員会 教育部 文化振興課（内線：656）</p>

(日本工業規格A列4番)